

科目名	社会福祉演習 I B					単位	2.0
担当教員	井上 薫						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4226

●授業のテーマ

子どもと家族への支援について考える(1-1) 入門

●到達目標

子ども研究の仕方や実践の基礎を修得する。

●学習内容(授業概要)

児童福祉や家族援助、心理学の領域の諸問題について多面的に検討する。それぞれの自己課題を出し合い、どんなテーマについてどんな方法で研究・学習をしていきたいのか、じっくりと話し合いながら進めていきたい。なお、児童福祉臨床(子育て教室、ケアワーク、相談援助活動など)についてもいろんな形で体験的に出会えるようにしていきたい。

参加者の努力や工夫のひとつひとつが、それぞれの個人的な資源(能力や強さ)として実を結ぶことを願っている。

発表資料の作成方法、発表の仕方、討論の仕方、研究報告書の作成方法などについても指導を行っていく。まず、自己紹介と話し合いを通じて、ひとりひとりの自己課題や関心のある領域、長所や持っている力を確認しつつ、グループあるいは個人の研究テーマをみつけていく作業を行う。さらに、そのテーマを探求するためにはどんな現実的な方法があるのか検討していく。

●学習内容(授業計画)

1. 自己紹介 オリエンテーション
2. ゼミ研究の計画づくり
3. 体験学習の計画づくり
4. テーマ設定
5. 準備
6. 体験学習(1) 子育て支援活動の見学、記録
7. 体験学習(2) 子育て支援活動の計画
8. 体験学習(3) 子育て支援活動のリハーサル
9. 体験学習(4) 子育て支援活動のふりかえり
10. 調査・資料収集(1) 収集の仕方
11. 調査・資料収集(2) 分析
12. 発表(1) 心理グループ
13. 発表(2) 保育研究グループ
14. 発表(3) 家族支援グループ
15. 総括(ふりかえり)

●準備学習・事後学習の内容

予め関連項目を調べてくる。また、授業時に示された課題について次回報告できるよう準備すること。

●成績評価方法・基準

平常点（発表、討論、グループワークへの参加）（40%）および研究報告書（60%）の内容により評価する。

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

参考文献は授業時に指示する。

●履修上の注意

授業に欠席・遅刻しないこと。

* 研究報告書では、適切な引用法を心がけること。本やインターネットなどの資料の丸写しは禁止。